

別紙6 ICOFORT 国際会議 2018 in 彦根の開催について

ICOFORT（城塞・軍事遺産国際学術委員会）は、世界遺産登録にかかる現地調査や提言等を行う ICOMOS の下部組織であり、世界各地の城郭、要塞、軍港、古戦場など軍事に関する施設や戦跡について、歴史評価、遺産としての価値づけ、保存活用方法などの検討を行ってきた。毎年、担当国の ICOFORT 委員会が学術会議や視察ツアーなどを開催しているが、平成 30 年度には、日本の ICOFORT 委員会である日本イコモス国内委員会が彦根市などと共同で実行委員会を組織し、本年 10 月に、「城塞と都市の防御」をテーマに、アジア初の ICOFORT 学術会議を彦根市で開催した。

【大会スケジュール】

10 月 22 日（月）

プレイベント能公演「高砂・羽衣」（彦根城博物館能舞台、一般公開）

10 月 23 日（火）

記念シンポジウム（ひこね市文化プラザエコーホール、一般公開）

開会の辞 大久保貴（彦根市長）

開会挨拶 河野俊行（ICOMOS 会長）

ミラグロス・フローレンス・ロマン（ICOFORT 委員長）

基調講演 中井均（滋賀県立大学教授）

「日本近世城郭の本質的価値－普請と惣構－」

ニコラ・フォシェール（エクス・マルセイユ大学教授）

「ヨーロッパの城郭と都市」

パネルディスカッション「乱の時代/和の時代－東アジア世界から見た城郭と都市」

山根裕子（彦根市特別顧問）「彦根の城と城下」

松本慎二（南島原市教育委員会文化財課長）「島原天草一揆と原城」

趙斗元（韓国京畿文化財団主任研究員）「朝鮮王朝における城郭とその発展」

呂海平（瀋陽建築大学教授）「明清時代の都市防衛－長城と辺牆」

伊藤洋子（芝浦工業大学教授）司会

閉会の辞 西村幸夫（日本イコモス国内委員会委員長）

展覧会「世界の城郭展」（ひこね市文化プラザメッセ棟、～10 月 25 日、一般公開）

10 月 24 日（水）

学術セッション（ひこね市文化プラザメッセ棟）

※テーマ；「城郭と要塞（日本の城郭の発展）」、「都市・集落の防衛システムと技術（古代の城塞都市ならびに植民都市）」、「海事と軍港（軍港とその防衛）」、「戦争の記憶と景観（今日に伝わる記憶と景観）」

歓迎イベント 狂言公演（ひこね市文化プラザメッセホール）

彦根城視察

10 月 25 日（木）

学術セッション（ひこね市文化プラザメッセ棟）

※テーマ；「城郭と要塞（東アジアの城塞、天守、城壁と稜堡）」、「都市・集落の防衛システムと技術（城郭都市）」、「近代の軍事施設と戦跡（近代への転換、冷戦時代の軍事遺産）」、「軍事遺産の記録・保全・マネジメント（保全計画、修復と再建）」

ICOFORT 年次総会

10 月 26 日（金）

エクスカーショント（安土城考古博物館、信長の館、伊賀上野忍者博物館）

10 月 27 日（土）～28 日（日）

日本国内視察（長崎、熊本など）